

花 橘

あなたの一番の応援者

発行日

令和5年7月21日

第5号

発行・編集

三崎高校総務課

数学科 高岡 仁哉

長いように思えた一学期も終わりを迎えようとしています。三年生は多くの人が部活動も一区切りとなり、自分の進路と向き合い始めた頃でしょうか。二年生は様々な場面で、先輩としての自覚が芽生えた3ヶ月間だったでしょう。一年生は三崎高校という新しい環境で楽しくも忙しい毎日を過ごしながら、たくさんの新しい経験をした一学期だったでしょう。私も4月にこの三崎高校へ来て、3ヶ月間で楽しいことも大変なこともたくさん経験しました。

何事も初めての経験には不安が付き物です。皆さんは不安や重圧に押しつぶされそうな時、新たなことに挑戦する時、物事がうまくいかなかった時、どのように対処していますか？人生は楽しいことばかりではありません。辛く苦しいことも山のようにあります。そのような時、私は「きつと大丈夫、うまくいく」と自分自身を応援しています。失敗したり、自分の無力さを痛感したりした時には、「つい自分のことを責めてしまいがちです。ですが、自分の一番の理解者は誰でもない、自分自身なので。辛く苦しい時こそ、「次はきつとうまくいくよ」、「よく頑張ったね」、「休んでもいいんだよ」と自分自身を応援してあげてください。

人は誰かが大切に扱っているものに対して、大切に扱わなければいけないと感じるものです。逆に、誰かが雑に扱ってあげれば自分も雑に扱って良いのだと感じます。あなたがあなた自身を大切にしていれば、自ずと周りもあなたのことを大切にしてくれるのではないのでしょうか。

「世間が自分を見放しても、自分だけは応援する」、男子1000m走の世界記録保持者であるウサイン・ボルト氏の言葉です。自分の思いを一番に理解してくれるのは、他でもない自分です。どんな時でも、自分自身が最高に信頼できる味方であってください。あなたの一番の応援者はあなたなので、すから。

軟式野球大会

7月8日に高校軟式野球選手権愛媛県大会が行われました。前日の壮行会では、吹奏楽部の演奏に合わせて選手全員が堂々と入場し、拍手に包まれました。丸山幹太主将は「最後まで諦めず、応援してよかったと思われるような試合をしたい」と力強く語っていました。試合当日は天気が心配されましたが、予定通り14:00にプレイボールとなりました。スタンドには保護者の皆様、卒業生、そして4年ぶりに全校生徒が集い、声を枯らして応援しました。ヒットが出れば大きく湧き、ピンチになれば「頑張れ！」の聲が飛ぶ。まさに全校一丸となった試合でした。結果は0-12で敗れましたが、どの選手も最後まで諦めることなくやり切っていました。試合後、涙を流しながら、「応援ありがとうございました」と大きな声で感謝を伝える部員の姿は大変立派でした。

